

TOTTORIの名を背負ってペダルを踏む美甘くん。実は鳥取県は、世界の舞台で活躍する自転車選手を複数輩出している背景を持つ。そのことが広く知れ渡り、競技人口が増えれば、いずれは鳥取が自転車競技の聖地として全国から注目される日が来るかもしれない

もつともつと成長を続けて、そのときの自分の力が
発揮できる種目に挑戦していきたい

倉吉総合産業高等学校

倉吉市小田204-5

☎ 0858-26-2851 (代表)

自転車競技部 部員募集中!

男女・経験問わず。来春入学予定の家族や
知り合いがいる人は、ぜひ声掛けを!

で中止となった3年時のインターハイの代替大会では、トラック競技の団体種目であるチームスプリント部門に参加し、3年間苦楽をともにしてきた仲間たちと共通の勝利をめざした。昨年11月に開催された中国地域自転車競技選手権ロードレース大会では、高校生ではなく一般の部でエントリーし、同郷の先輩たちとチームを組んで優勝を勝ち取った。果てなき向上心と、仲間とともに勝利をめざす姿勢。これらは美甘くんの今後の競技人生においても、躍進を支える大きな武器になるのだらう。

卒業後は早稲田大学に進学して自転車競技部に所属する傍ら、首都圏に活動拠点を置く実業団チーム「AVENTURA CYCLE RACING TEAM」の提携選手として国内外のレースで走る予定だ。

当面の目標を「インターカレッジ優勝」と定めつつ、「ロード一本に絞るつもりはありません。もつともつと成長を続けて、そのときの自分の力が発揮できる種目に挑戦していきたい。どんな場面でも活躍できる選手になりたいです」と語る美甘くん。自らを型にはめず、限界を定めず、無限の可能性を信じて、自転車競技と向き合っていく考えだ。

わがまちからまた二人、力ある選手がさらなる高みを求めて羽ばたいていく。自転車に憧れを抱いたスポーツ少年は、瞬く間に高校チャンピオンになり、一流の競技選手になった。そのシンデレラストーリーの続きを、しっかりと目に焼き付けたい。